

特集

# 「子ども食堂ってどんな所？」 子どもの第3の居場所

和つとひろば@西地区(大垣市)  
代表 松村麻里



和つとひろば@西地区

## 1 和つとひろば@西地区ができるまで

現在高校3年生の息子と中学3年生の娘がいます。子どもが乳幼児の頃は地域に子育てサロンもあり、毎日のようにあちらこちらの居場所に出掛けていました。また乳幼児サークルも作り、子育てを同時期にしているママ達と支え合いながら、園に入るまでの大変な子育て時代を乗り越えました。子育てをしながら出来る仕事を・・・と、子どもが2歳と5歳の時に自宅で幼児・小学生対象の学習教室を開きました。息子が小学生になると、周りに遊べる環境がないことに気が付きました。

幸い、我が家で教室を開いていたので、ここが居場所となっていくきました。春休みや夏休みも集える場所がなく、朝から教室を開けて学び、お昼もみんな一緒に食事をして、遊んで帰るといった長期休みを10年間過ごしました。

教室に来られる子は居場所があるけれど、地域の子ども達にも居場所が必要だと思い、2018年秋に西地区センターで大垣初の子ども食堂を月に1度スタートさせました。

この当時、月1で土曜日授業があったので、この日の午前中に地域のお母さん達と食事を仕込んで、学校帰りの子ども達を待つことになりました。初回は40名、2回目80名、3回目以降には100名以上の子ども達を訪れる、大切な居場所となっていきました。



平日のみんなの食堂



子ども食堂は食器持参

## 【突然の学校休校】

土曜授業日は「子ども食堂開催日！」と順調に定着していきましたが、突然の学校休校、同時に外出できない状況となり、会場も使えず、子どもも大人も集えなくなりました。

居場所が必要だと活動していたのに、更に居場所を失うことに・・・。



ロープ1本で遊びが始まる



今やりたいことを!



木があればトントンカチカチ



今日はどんな遊びをしようかな

と考え、キッチンカーによる食事提供や、外で食材配布を行うなど、コロナ禍の期間には、繋がれるきっかけ作りをしていました。館内での食事提供もしばらく出来なかったため、隣の公園で青空食堂のような居場所を開催していました。

## 「プレーパークも同時開催！」

外遊びの大切さも分かっていたのでプレーパークを同時開催し、お腹も心も満たす居場所作りを心掛けていました。

●プレーパークとは  
「何をしても自由!何もなくても自由!」

「自分の責任で自由に遊ぶ」「遊び」という自発的で主体性を持つ行為を保障する場

身体や五感を使って、子ども達が想像力で工夫してつくり出す空間を、プレーリーダーが安全に配慮しながら見守り寄り添います。

## 特集 「子ども食堂ってどんな所？」子どもの第3の居場所

幸い、子ども食堂を通して、様々な方達との繋がりがあったので、今、何が出来たろう・・・



地域イベントに出張プレーパーク



お天気の良い日はお外でご飯

火起こしに木工、こまにけん玉、水遊び・・・。ロープ1本置いておけば綱引きが始まったり、大縄が始まったり、ハンモックやブランコ、綱渡りと無限に遊べるのです。のこぎりやハンマーを使うのも初めて、火をつけるのも初めて、オール電化が進み、中には火を見るのも初めての子もいます。最初の頃は、外遊びを経験した子ども達が少なく、遊び方が分からず、ご飯を食べるとさっさと帰る子が多かったです。今では、終了時刻を過ぎても帰らない子ども達が優勢に。

特集 「子ども食堂ってどんな所？」子どもの第3の居場所

3 みんなの居場所

大垣市には児童館がありません。月に1回の子ども食堂やプレパークでは足りずに、週に1



放課後は中学生のお腹と心を満たす場



地域ボランティアさんに感謝



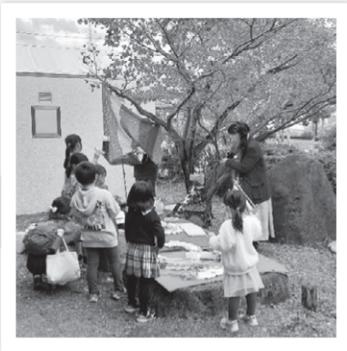
子どもの遊びは無限大



小さい子も大きい子も挑戦



落ち葉も遊びの資源



童謡を唄うよ

回の居場所を西公園の管理棟ではじめました。居場所を開催してみると、妊婦さん、乳幼児親子、不登校児童生徒、地域の方、様々な悩みを抱えた保護者様、先生方等、本当に大勢の方が立ち寄る居場所となりました。週に1日では足りずに現在は週に2日開催しています。

夏休みや春休みの長期休暇には週に2〜3日の居場所を提供しています。地域の方々がボランティアさんとして手を挙げてくださり、支えてくださっています。温かい気持ちが循環する世界が広がっています。



夏休みの居場所



春休みの居場所



長期休みの居場所



2024年4月の活動



放課後の学習支援



夏休みの学習支援

プレパークのはじまり  
プレパークは、第2次世界大戦後のデンマークで、焼け野原での遊びが生まれたことから始まりました。そして、次第にヨーロッパ各地に広がり、日本では、1970年代に「自分の責任で自由に遊ぶ」「けがと弁当は自分持ち」をキーワードに、東京や神奈川で始まりました。「遊ぶ」という、自発的で主体性を持つ行為を保障する場として

子ども達の可能性は無限大です。遊びを通して沢山の学びがあります。そして子ども達の笑顔が私たち大人を元気にさせてくれます。今では県内にいくつもの団体が立ち上がり、週末ごとにあちこちでプレパークが開催されています。

2 子ども食堂の目的

また、子ども食堂は国内に、公立中学校数と並ぶ9000か所以上にまで増えました。子ども食堂は月1開催のところから、365日提供しているところまで

「遊ぶ」と「育ち」を見守っています。

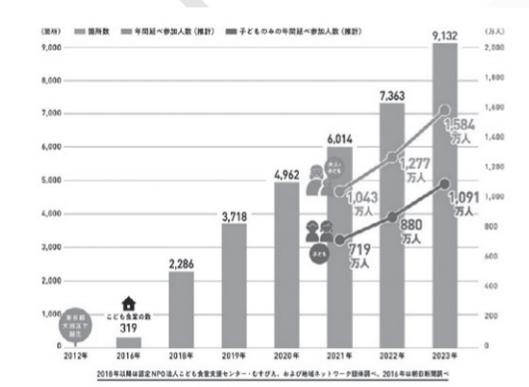
おなかも心もいっぱいにしちゃおう！何をしても自由、何をしなくても自由。

ふだんできないことがおもしろい！まわりの大人の手出し口出しは、ノーサンキュー

おなかをいっぱい食べてほしい！

これなら手伝えるかも……。そんな人集まれー！！

目的もおなかをすかせた子ども達への食事提供から、孤食の解消、滋味豊かな食材による食育、地域交流の場つくりと様々です。和つとひろばでは、毎回150人前後の人が訪れ、家庭や学校以外の、誰でも立ち寄れる居場所を提供しています。子どもは、誰もが一人では生きられません。みんなで支え合うことが大切です。



これまで、数人を対象としていたところから毎回数百人が集まるところまで実に多様です。

#### 4 居場所を継続するために

毎日でも開催したい居場所。継続するためには人、建物、お金が必要です。企業や個人様からご寄付をいただきながら、できる範囲で開催しています。市でも子ども食堂補助金や居場所補助金を作っているだけで、少しずつ私たちの活動に理解を示していただけるようになってきました。



放課後の居場所

子ども食堂ネットワーク（全国、県、市）、子どもの居場所ネットワーク、県や市の社協やフード

#### ●各団体（和っとびひろば等）の主な活動内容

- ①子ども食堂  
子どもを真ん中に一緒に食事ができる場。子どもも大人も誰でも来られるよ！
- ②学習支援  
一人一人に寄り添い、家や学校以外でも学べる場。
- ③相談  
不登校、教育、子どもの育ち、家族等、ちょっと話せることで気持ち楽になる。様々な悩みを傾聴します。
- ④プレパーク  
遊びを通じて、子ども達の自主性や冒険心を育み、生き生きと成長できる遊び場です。
- ⑤みんなの居場所  
いつでも誰でも来ても大丈夫。世代を超えて、地域住民のつながる場。

バンク、市の各課、企業様、個人様等、本当に多くの方が絡み合っていて繋がり、助け合って居場所が成り立っています。感謝でしかありません。

#### 5 和っとひろば@西地区のこれから

子ども食堂、そして居場所をはじめ6年が経ちました。市内の各小学校区に1つの居場所が広がること、また常設の居場所ができることを祈りながら、和っとひろば@西地区の活動を続けていきます。



自分の意志と足で来られる場

#### 7 利用者の声

- 子どもと気軽に立ち寄れて食事だけでなく、食材もいただけ、ありがたい。（保護者）
- 毎日やってほしい。（小学生）
- 友達と来られる場所があった嬉しい。（小学生）
- 放課後、友達と来て、お腹も満たして遊べて、近くに居場所があった良かった。（中学生）
- 自分達の地域にも欲しい。（保護者）
- 私の居場所にもなって嬉しい。（独居 サポーター）



#### 6 NPO法人つなぐわ（ネットワーク団体）もできました

「NPO法人つなぐわ」は、大垣市を中心とした岐阜県西濃地区の子どもの居場所等の活動を行っている団体をつなげるネットワーク団体です。「NPO法人つなぐわ」は、できて3年目となります。居場所運営に取り組んでいる各団体が協力し合いながら行政や議員懇談をしたり、悩みを共有したり、食材をシェアしたりと、子どもの人権を大切にしながら活動を続けていきます。

居場所を始めたい方、子ども食堂、学習支援、プレパーク、子どもの居場所にご興味のある方は是非繋がってください。皆さんの温かいご支援もお待ちしております。

#### ●つなぐわの活動

##### ①子ども居場所等活動・団体と連携

西濃地区で子どもの居場所を運営する団体同士が連携し、情報交換をしながら、子ども達にとって必要な居場所作りをしています。

##### ②食糧支援

企業や個人からの食糧支援も承っております。子ども食堂での活用、食品ロス削減等を目指し、子育て家庭への食料配布支援も行っています。

##### ③行政への働きかけ

より良い地域、子ども達の環境を目指して、行政との交流や懇談も定期的に行っています。



#### Facebookより

2024年4月20日(土)

##### サバイバルゲーム編

大冷工業様と小林さん、ご協力のもとイビデン様の体育館をお借りしてサバイバルゲームを行いました☆説明時しか居られませんでした、笑顔いっぱい、活気があった模様。

## みんなの居場所

だれでもOK！

**子ども食堂**  
ご寄付いただいたものをみんなでいただきます。

**居場所**  
いつでもいつでもOK！ひとりでも来て本を読んだり、ほっと一息お茶を飲んだり、お友達とおしゃべりしたり好きに過ごしてまじても。

**フードパントリー**  
必要な方へあるものをお配りします。

**開催日時**

・毎週水・金曜日  
10:00~16:45  
(夏休み・春休みは別途開催予定)

**開催場所**

・西公園集会所  
(日の出町2丁目69-1)

**募集中!**

・お野菜やお菓子など食材のご寄付やボランティアさんも募集中!!  
★詳しくはお電話にてお問合せください！

和っとひろば@西地区 TEL 090-1471-8601(松村) 後援 大垣市教育委員会

**もちもの**

- ・エコバック
- ・ごはんを食べる方は、食器やおはしの持参にご協力下さい。
- ・アレルギーには対応していません。
- ・数量限定の品切れの際はご了承下さい。

※お願い※  
おとなの方は、居場所運営の協力金として200円をよろしくお願ひします。  
子ども食堂はおとな別途100円です。  
子ども無料